

















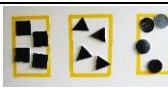






酒田特別支援学校知的小学部 算数I段階

数量の基礎	<p>具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。</p>					
	<p>腕にはめた靴下を蛇に見立て、児童にかかわる。児童に靴下をとってもらう。</p>	<p>粘土板に貼られたビニールテープをはがす</p>	<p>2台のタブレットに表示された画像に視線を向けて、自分が見たい映像を伝える。</p>			
	<p>目の前で隠された物を探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりすること。</p>					
	<p>中に入っている玉が見える状態で提示する。児童に玉をとってもらう。</p>	<p>児童の前で玉を隠す。玉が見えなくなった状態で、児童が探すようにする。</p>				
	<p>ものともとを対応させて配ること。</p>					
<p>・3までの数を扱う。 ・一人に1つずつ皿やコップを配る。</p>	<p>印(丸シール)の上に1つずつ洗濯バサミを留める。</p>					
<p>分割した絵カードを組み合わせる。</p>						
<p>2分割のイラストに注目し、正しく組み合わせる。</p>	<p>2分割のイラストに注目し、正しく組み合わせる。</p>	<p>2分割のイラストに注目し、正しく組み合わせる、</p>	<p>数字を手掛かりにしてカードを左からまたは上から小さい順に並べ、絵を完成させる。</p>			
<p>関連の深い絵カードを組み合わせる。</p>						
数と計算	<p>ものの有無に気付くこと。</p>					
	<p>目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すこと。</p>					
	<p>3までの範囲で具体物を取る。</p>					
	<p>数詞の数だけ具体物を取り、ケースに入れる。</p>					
	<p>5までの範囲で数唱をすること。</p>					
<p>・数字を手掛かりにしてカードを左からまたは上から小さい順に並べる ・数字を指差しながら数唱する。 ・正しく並べられたかを数字シートを活用して確認する。</p>						
<p>対応させてものを配ること。</p>						
<p>・お皿の数だけスプーンやケーキを手に取り、配る(3までの数を扱う)。【評価】はじめにお皿の数だけ物を手に取ったか。</p>	<p>指導者の1~3の言葉掛けや身振り、指差しを受けて、印(丸シール)に洗濯ばさみを留める。</p>					

図形	形や色、位置が変わっても、数は変わらないことに気付くこと。						
		横一列に並んだドットカードを、同じ数のドットの上に置く。カードを置いた後に、数詞を確認する。	横一列に並んだハートのカードを、同じ数のハートの絵の上に置く。カードを置いた後に、数詞を確認する。	横一列から上下にずれたドットカードを、同じ数のドットの上に置く。カードを置いた後に、数詞を確認する。	具体物がまとまって入った袋と数詞を対応させながら、ケースに入れる。		
	具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。						
		腕にはめた靴下を蛇に見立て、児童にかかわる。児童に靴下をとってもらう。	中に入っている玉が見える状態で提示する。児童に玉をとってもらう。	児童の前で玉を隠す。玉が見えなくなった状態で、児童が探すようにする。			
	形を観点に区別すること。						
		丸、三角、四角の型はめ(取っ手つき課題) ・図形を触って、形の違いを確かめながら、行う。	丸、三角、四角の型はめ ・図形を触って、形の違いを確かめながら型はめをする。	コインや細長ブロックを、透明パックのそれぞれの穴へ入れる。			
	形が同じものを選ぶこと。						
		丸、三角、四角の型はめ(取っ手つき課題) 【評価】 一度ではめることができたか	丸、三角、四角の型はめ 【評価】 一度ではめることができたか	プラスチック皿を重ねる。 【評価】 一度ではめることができたか	9種類の異なる形が描かれたカードを弁別する。		
	似ている二つのものを結びつけること。						
		・見本を手掛かりにして、○△□を弁別する。					
関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。							
	2分割のイラストに注目し、正しく組み合わせる。	絵に注目し、同じもの同士を組み合わせる。	対になる物が分かり、枠にカードを貼る。				
同じもの同士の集合づくりをすること。							
	・見本なし ・自分で丸、三角、四角の基準で弁別をする。						
測定	大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別すること。						
		1m先まで丸を持って行って一人で枠に正しくはめる。	大小の異なる3つの円盤を型にはめる。	面の大小が異なる円柱をそれぞれの穴に入れる。	長さの異なる3種類の棒磁石を、印の上に正しく貼る。		
	あるない、大きい小さい、多い少ない、などの用語に注目して表現すること。						